

杉山愛さん(元プロテニス選手)

神奈川県横浜市出身。両親の影響で4歳からテニスを始める。様々なスポーツに取り組んだが、テニスが一番楽しくなり、小学2年生から本格的に打ち込む。中学時代にジュニアの全国大会で優勝し、15歳で日本人初の世界ジュニアランキング1位に。湘南工科大付属高校1年でインターハイ、全日本室内選手権で優勝。その後、高校2年でプロ転向し、湘南高校の通信課程に移って世界ツアー転戦を本格的に開始した。シングルスでは93年のウィンブルドンで4大大会初出場、翌94年の同大会からグランドスラム62大会連続出場を果たした。ツアー優勝はシングルスが6回、ダブルスは全仏、ウィンブルドン、全米を含め38回。全米ではミックスダブルスの優勝もある。シングルの最高ランキングは8位、ダブルスは1位。09年の引退後は、神奈川県茅ヶ崎市にあるNPO法人パームインターナショナル湘南にて後進の育成に努めるほか、テレビなどにも出演して幅広い活動を展開している。

<まずは「きっかけ」を>

現役を引退してから早いもので10年が過ぎました。テニスは世界ツアーなので、一年中、各国の都市を旅して回るツアー生活を17年間続けてきましたが、最近は地元の神奈川県に少し腰を落ち着けて、現役中から考えていたスポーツ育成プランに取り組んでいます。

育成プランというと大げさに聞こえるかもしれませんが、もっともっと多くの人にスポーツに触れるきっかけを提供したいという考えで、そこから世界に出て行くようなテニス選手が出てくるのではないかと期待持っています。

私が主宰しているNPO法人パームインターナショナル湘南では毎年、「スポーツフェスティバル」を開催し、今年で12回目になりました。子供たちを中心にいろいろなスポーツを体験してもらうイベント企画で、今年はテニス、スナッグゴルフ、サッカー、それに日本でワールドカップもありましたから、ラグビーを用意し、地元の神奈川を中心に100人ほどの子供たちが集まってとても賑やかでした。私も幼少時には、体操、水泳、クラシックバレエやフィギュアスケートなどを体験した中で、最後はテニスを選びました。色々なスポーツに実際に触れることで、面白く感じる競技、自分に合った競技を選ぶことができる。そういう機会を子供たちに提供したいという考えは、今回のアールビーズさんの趣旨にも通じるものだと感じています。

私はテニスプレーヤーでしたから、やはり世界で戦うような選手を育てたい夢があります。そこで2018年からAI SUGIYAMA CUPというジュニアの公式大会をスタートさせました。テニスはジュニアでも世界ツアーを構成していて、AI SUGIYAMA CUPも国際テニス連盟のグレード5という公式戦です。ピラミッドの裾野を構成する大会で、私もそうでしたが、こうした大会から少しずつグランドスラムをめざして階段を上っていく、世界への第一歩です。先行してきた「スポーツフェスティバル」の中から、もしテニスに興味を持った子供たちがいたら、今度は次のステップを目指すことができると、この大会を始めたわけです。

これからはますます少子高齢化社会になります。子供達から高齢者までが楽しくスポーツを実践したり観戦したりする機会が増えて欲しいと思っています。スポーツを通してコミュニティーができ、健康寿命が長くなり、人々が元気に楽しく自分らしい生活ができる明るい社会が広がることを切に願っております。